

生徒指導だより

保護者の皆さま

令和6年12月

「松中美人」

自ら学び、心身を鍛える生徒 自他を尊び、誠実に生きる生徒 夢を持ち、くじけずに努力する生徒

1. 冬休みの生活のきまり

以下のきまりは、冬休み前の学年集会で、生徒に指導する冬休みの生活のきまりに関する内容です。保護者の皆さまもご一読いただきますようお願いいたします。

1 トラブルの起きやすい施設などへの出入りに気をつける。

- ① 友人同士で校区外へは行かない。
- ② 校区内の大型店舗へ行く必要があるときは、用事をすませたら素早く帰宅する。
- ③ 下記の場所は、保護者・指導者の同伴を必要とする。送迎だけでは不可。

校区内外に関わらず、ファミリーレストランやファストフード店等の飲食店。映画館、遊園地、コンサート、ボウリング場、カラオケボックス、ディスカウントショップ、複合型エンターテイメント施設などの娯楽施設。

- ④ 下記の場所は、保護者・指導者の同伴があっても出入りをしてはいけない。

ゲームセンター(大型店舗のゲームコーナーも含む)、インターネットカフェ、まんが喫茶。

※これは白山野々市の全ての中学校で同様。

2 アルバイトは原則として禁止する。

3 外出の際は、行き先・同伴者・帰宅時間などを家の人に告げる。

4 保護者同伴以外の外泊は禁止とする。

5 休み中でも、学校へ来る時は制服あるいは部活動の服装で登下校する。私服ではない。

6 公共マナーを守る。

- ① 公共交通機関の乗車マナーや自転車運転時の交通ルールを守る。
- ② 自転車で買い物などに行った時には、駐輪場所での使用マナーを守る。

7 不審者に気をつける。

- ①可能な限り複数で行動し、人気のない場所に近づかない。
- ②不審な人物の誘いにのらない。（車に乗らない）
- ③身の安全を最優先する。
- ④子ども 110 番の家を確認するなど緊急時行動を確かめておく。
- ⑤何かあった場合は、警察に連絡後、学校にお伝えください。

8 ネットマナーやネット使用の家庭ルールを守る。

*ネットは依存性が高く、トラブルの原因にもなりやすい。

- ① 不必要にネットを使用しない。
- ② 自分や他人の個人情報の取り扱いに注意する。（写真や動画を絶対に載せない）
- ③ SNS やメール等で他人の悪口や噂話を流さない。犯罪です。

2. 子どもにとって充実した冬休みにするために

①規則正しい生活のリズムで過ごすようにしてください。

年末年始は生活リズムが崩れやすいです。新学期が始まった時に、スムーズに学校生活のリズムにのれるように、早寝早起きや三食をある程度決まった時間に食べるということをご家庭でも大切にさせていただきたいです。古代ギリシャの哲学者であるアリストテレスの名言に「我々自身は繰り返し行っている行動により作られる。したがって、優秀さは行動ではなく習慣によるものだ。」というものがあります。習慣化したよい行動がよい結果に繋がるように、冬休み中も規則正しい、よい習慣で生活できることを願っています。

②お子さんのお金の状況を把握するようにしてください。

お子さんのお金の使い方に、生活、人間関係、行動範囲の変化が表れると言います。急にお金の使い方が荒くなったり、高価なものを持ったりするようになったら、注意してください。

③SNSの使い方についてご家庭で把握してください。

ニュースで SNS を使った犯罪や誹謗中傷について報道されています。SNS の使い方については白山署の方を招いて講義を聞いたり、事例からどう行動すべきかを考えたりすることをこれまでに行ってきました。松任中学校でも SNS に関連したトラブルはあります。また、生徒内でも SNS の使用はとても不安であるとの意見もあります。生徒たちは、「見知らぬ人にはついて行かない」ということをよく理解していますが、「見知らぬ人と連絡を取らない、会わない」ということについては、理解が曖昧なところもあります。さらに、友だち等からの必要以上のメッセージや通話等のやり取りで、疲れきっている生徒も少なくありません。家に帰っても、学校の間関係の延長戦が、ネット上で繰り返されていきます。SNS をやめれば問題は解決するようには見えますが、子どもたちは「仲間外れにされたらどうしよう」「話題についていけなかったらどうしよう」という不安も抱えています。こうした精神的疲労と不安を SNS が増長している側面があります。これらのことをご理解いただき、お子さんと SNS の使い方について、またルールについても、今一度ご家庭でも話し合ってくださいと思います。